

第5回我孫子市新廃棄物処理施設整備運営方式等検討委員会会議録(要旨)

1 開催日時 平成29年11月22日(水)午後13時00分から午後14時30分

2 開催場所 我孫子市役所議会棟第1委員会室

3 出席者 (出席委員)

青木委員長、渡辺副委員長、川村委員、大畑委員、古谷委員
(事務局)

環境経済部クリーンセンター 増田課長

環境経済部新廃棄物処理施設建設準備室 伊藤室長、佐野室長補佐、松澤主査

企画財政部資産経営課 長谷川課長、林課長補佐、河合主任

国際航業株式会社 森田、齋藤、伊藤、高杉

4 議題 (1)エネルギー回収型廃棄物処理施設の整備に係る PFI 導入可能性調査報告書(案)について

5 その他

6 議事要旨

青木委員長 それでは、第5回目の新廃棄物処理施設整備運営方式等検討委員会を始めます。今回は、最終回の会議であるため、これまでの議論を踏まえ、各委員は事前に提示された報告書(案)について、議論していただきたいと思います。

では、「エネルギー回収型廃棄物処理施設の整備に係る PFI 導入可能性調査報告書(案)」について、事務局の説明をお願いします。

---- 議題(1)エネルギー回収型廃棄物処理施設の整備に係る PFI 導入可能性調査報告書(案)について 説明 ----

事務局 目次の括弧書きされている(第〇回)部分については、本委員会での説明を円滑にするために記載しており、報告書として HP 上に公開する際には削除するので、ご承知おきください。また、第1回検討委員会から第4回検討委員会までの課題については、本報告書(案)に反映しています。細かい誤字脱字等については、今後、事務局で修正します。

第3回の検討委員会において川村委員の「PFI 方式以外の資金調達、事業の範囲を含めて表現したほうが良いという」という指摘がありましたので、P7に指摘事項を反映しています。P11の「(5)事業方式の評価」については、今回の委員会において新たに検討する項目として整理してあります。

また、P12の「【参考 VFM について】」では、参考として VFM の考え方について

て整理し、掲載しました。

P14では第2回及び第4回の検討委員会において古谷委員から指摘のあった「余熱利用施設について公共的な利用について幅広く検討をすべきである」という指摘を踏まえ、検討の結果を示しています。表2-1に想定される余熱利用の形態を整理し、P15において「(3)新廃棄物処理施設における発電以外の余熱の利用方法の検討」という形で検討の結果を示しています。

P27の「4.3.1 本事業への関心について」については、川村委員から指摘のあった文章の表現について修正しました。

P33の「循環型社会形成推進交付金と二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」では、環境省の循環型社会形成推進交付金制度もしくは二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の両制度のどちらを活用することが優位か定量的にわかりやすく説明したほうが良いとの川村委員の指摘を踏まえ、トータルコストでどちらの方が優位かわかるように修正しました。

P47の「図 6-1 本事業(20年間)における本市の財源負担額の比較(現在価値換算)」について、PFI(BTO)方式とDBO方式の財政負担額が逆になっているため、修正します。

青木委員長 それでは、委員の意見・質問等を伺います。意見・質問等あればよろしくお願ひいたします。

古谷委員 DBO方式の処理能力、規模、発電設備について伺います。P56の一日の処理能力が1炉60t、2炉で120tとありますが、定期補修や、修繕等で炉を運転していない期間も含んでいるのでしょうか。また、売電について東京電力との協議などは行っているのでしょうか。

事務局 処理能力については、定期補修や、修繕等で炉を運転していない期間も考慮した能力となっています。また、売電については、売電をする際、東京電力パワーグリッドに対して事前に「接続検討協議」を実施する必要があります。この接続検討協議については、現在対応中であり、検討の結果を3月末前に東京電力パワーグリッドから回答をいただく予定です。

大畑委員 この報告書(案)のタイトル(名称)は変更可能でしょうか。委員会での判断の結果を示すものであるため、委員会の名称である「新廃棄物処理施設整備運営方式等検討報告書」としてはいかがでしょうか。

事務局 報告書のタイトルは、委託業務の発注名称を用いていますが、変更は可能です。

青木委員長 各委員は、大畑委員の意見に対して異議などありますか。いかがでしょうか。

川村委員 本委員会では、DBO方式を含め、様々な事業手法について検討を行っており、PFIの導入可能性についてのみ検討を進めたわけではないため、大畑委員の発言に同意します。

委員一同 異議ありません。

事務局 報告書のタイトルは「新廃棄物処理施設整備運営方式等検討報告書」とし、報告者は「我孫子市新廃棄物処理施設整備運営方式等検討委員会」とします。また、「1.はじめに」の部分については、委員会設置目的として記載されているため、

検討報告書としての作成目的に修正します。

青木委員長 市の人件費の設定について、提示されている680万円/人・年は、雇用保険などが含まれていないため、雇用保険等、雇用者が支払う金額についても見込んだ人件費を用いる必要があると考えます。なお、我孫子市が行政評価を行う際に用いている行政評価マニュアルでは、事業主としての負担額は880万円/人・年となっています。また、民間の人件費の530万円/人・年は、雇用保険等は含まれているのでしょうか。

事務局 市の人件費は、雇用保険等を含んだ「行政評価マニュアル」に提示されている人件費を用います。また、民間の人件費については、雇用保険等を含んでいるか確認します。

青木委員長 P56のスケジュールについて、平成33年度中の稼働は現実的に可能でしょうか。

事務局 平成33年度中の稼働を目指すという前提で計画を立ててきましたが、実際のところ、新規焼却施設詳細配置計画を検討していくなかで、追加調査の実施による環境アセスメントの遅延、境界確定測量実施の遅延、水道局や東京電力等、関係機関との協議の必要性が確認され、平成33年度中に稼働することは難しいと考えています。後日、現実的なスケジュールを検討し、提示します。

青木委員長 その他について、ご意見、ご質問はありますか。

委員一同 ありません。

青木委員長 今回、事業スケジュールの見直し等、大きな指摘・修正事項が確認されましたので、再度、委員会を開催し、検討を行うこととしてよいでしょうか。

委員一同 異議ありません。

青木委員長 以上で第5回新廃棄物処理施設整備運営方式等検討委員会を閉会いたします。

以上